

■第2回さぬき市民病院 地域包括ケア病棟 あそびイベント [8月7日(水)]



8月7日(水)、当院2階会議室にて、3東病棟の介護福祉士が主体となり、第2回さぬき市民病院 地域包括ケア病棟「あそびり夏祭り」を開催しました。当病棟では、退院後に自宅等で安心した生活が送れるよう、リハビリや生活指導を通じて他職種が退院支援を行っています。「あそびり」は、毎日11時から遊びながらリハビリテーションを

行えるように、週間メニューを考え実施しているものです。今年の夏祭りは、寒川高校の学生による元気いっぱいの「YMCA」の踊りで始まり、職員による心和むピアノ演奏や、ヨーヨーつり、金魚すくい、輪投げといった縁日を患者さんに楽しんでいただきました。中でも「フラダンスショー」を東かがわ市クッキーフラスタジオの皆さんに披露していただきました。カラフルで素敵な衣装を身にまとった子供達の可愛い踊りに手拍子する方や、大人の優雅な踊りに見入ったりする方、来場された方のたくさんの笑顔で会場はいっぱいになりました。最後に、会場にいらした皆さんでフラダンスを一緒に踊る機会もあり、ひとときのお祭りを満喫されていました。参加者から、「途中からの見学でしたが、常に患者さんに付きそい、声掛け等しているスタッフさんの様子にとっても感心しました。」「とても楽しかったです。」の声がとどきました。



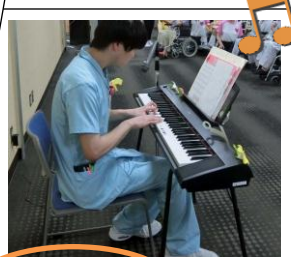
フラダンスショー



Y・M・C・A!!



縁日



ピアノ演奏♪

■新人職員リフレッシュ研修会開催 [7月13日(土)]



7月13日(土)に、新採用職員リフレッシュ研修会を開催し、新人職員13名が参加しました。はじめに、徳田院長による講演があり、当院の沿革や現状の役割が紹介され、参加者は真剣な眼差しで講演を聴いていました。



その後、他者を紹介する「他己紹介」や「発想ゲーム」、「O×クイズ」等仕事で必要となるスキルを身に付けられる研修となりました。昼食時には、入院患者からも評判の高い栄養管理科から手作りの寒天ゼリーを作っていただき、笹岡医師による「災害拠点病院」についての講演では、災害拠点病院としての当院の役割やDMATの活動について学ぶことができる良い機会となりました。



参加者からは「日頃の自己研鑽が大切だと改めて思った」や「自分には関係ないという意識はやめて、常に考えて行かなければならないと思った」等の今後への前向きな意見が多く見られました。

これからも新人職員の皆さんに1日でも早く職場に慣れていただけるようこの研修会を続けてまいります。研修会にご協力ご支援いただきました職員の皆さん、本当にありがとうございました。



■院内 AED 講習会開催 [6月13日(木)、7月11日(木)、8月8日(木)]



6月13日、7月11日、8月8日の3日間にかけて、さぬき市民病院2階会議室にて「AED講習会」を行いました。この講習会は職員全員が対象となっており、メンターの職員は本番さながらのように指導を行い、参加者も緊張感の漂う中、講習を受講していました。受講した事務職員からは、「一人で救助をすることは困難で、周りにいる人に協力を求めることが必要だと思いました。」「心肺蘇生に人工呼吸が必要だと思っていましたが、胸骨圧迫だけで十分効果があるということを知りました。ただ、強く・早く・絶え間ない胸骨圧迫(心臓マッサージ)が必要なので、交代しながら行う事も大事だと感じました。」「印象に残ったところは、手で指名して助けを求めることが必要だということ。具体的な指示がないと動けないものだ実感しました。また、一連の流れを、繰り返し練習したのでイメージが持て良い経験ができました。」との声もありました。



心停止から救急車が来るまでに、心肺蘇生やAEDを使用することで、救命できる可能性は飛躍的に上がると言われており、もし身の回りで起きた場合に備えて今後もこのような講習会を行っていきます。



■第58回香川県国保地域医療学会 [8月18日(日)]



8月18日(日)に、ホテルパールガーデンにて「第58回香川県国保地域医療学会」が開催されました。さぬき市民病院からは、看護師の河内さんが「看護師と介護職員の協働に対する認識調査」、高嶋部長が「画像診断レポートの未読防止の取り組み」、臨床工学科の東村さんが「当院透析室における業務改善の試み～スタッフの時間外勤務と患者の体重増加への影響～」について研究発表を行い、南木医師は座長として参加されました。その中でも、看護部3東病棟の河内万実さんの堂々と発表する姿はとても上手で「最優秀賞」を受賞され、10月初旬に行われる「全国国保地域医療学会」へ当院を代表して参加されます。発表いただいた皆さん、おつかれさまでした。



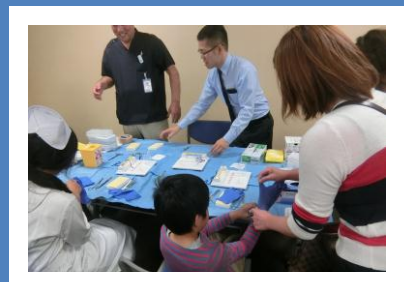
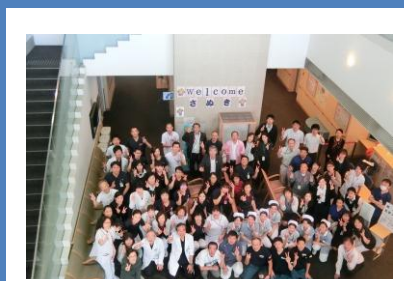
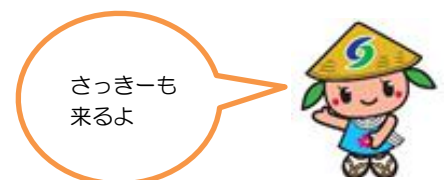
◎学会に参加した河内万実さんからの一言

今回、3東病棟で取り組んだ研究「看護師と介護職の協働に対する認識調査」を看護師も介護職も「患者を中心に意見が言える関係になりたい」という共通認識があることが分かりました。また協働していくためには、お互いの専門性を理解し、何でも言い合える環境づくりや、知識や技術の向上のための勉強会が必要であるという課題を見つける事ができました。

■「第2回さぬき市民病院フェスティバル」開催のお知らせ

さぬき市民病院では地域住民の皆さまに、最新の医療や健康増進に向けた医学的な情報を発信することで、健康に対する意識を高めていただくとともに、より当院のことを知っていただき、地域に親しまれる病院づくりの一環となることを目的として「第2回さぬき市民病院フェスティバル」を開催します。どなたでも入場いただけます。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

日時：令和元年11月3日(日) 9時～15時(予定)
 会場：さぬき市民病院
 【問】さぬき市民病院 総務企画課 (0879-43-2522)



■令和元年度 感染対策研修会開催 [9月9日(月)]

9月9日(月)、当院2階会議室にて、感染制御総合支援チームが、「感染防止の視点で吸引手技を考える～暴露しない！運び屋にならない！環境を汚さない～」をテーマに感染対策研修会を開催しました。内容は、標準予防策のひとつを紹介するもので「手指衛生」「个人防护具の使用」について、いつ手指衛生をするのか、ガウン、マスク、ゴーグル、手袋の装着する順番、はずす順番、手袋の装着や外し方、交換のタイミング、ガウン・エプロンの外し方など



について、映像で確認するものでした。
今後、より一層の感染対策に取り組んでまいります。

■「多職種連携交流会」開催のお知らせ

さてこのたび、標記交流会を下記のとおり開催することとなりました。つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、関係職員の参加についてご配慮を賜りますようよろしくお願い申し上げます。なお、名簿提出の締め切りは9月30日(月)です。

日時：令和元年10月13日(日)

9時～15時(予定)

会場：さぬき市民病院 2階会議室

テーマ：「在宅医療と救急医療の連携」

～高齢者の救急搬送について～

※対象：さぬき市・東かがわ市の病院等に勤務している医師・保健師・看護師等在宅医療に関わる介護支援専門員、ヘルパー等、大川広域職員

【問】公益社団法人香川県看護協会 第1支部
支部長 赤松美智代(さぬき市民病院 看護部長)

～地域医療部から～ — ソーシャルワーカーのつぶやき —

いきいきと生きていくために ～「終活」と「人生会議」～

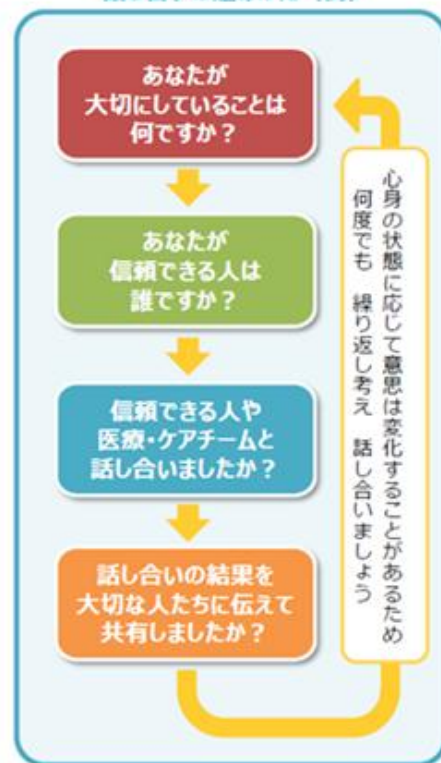
みなさんは、「終活」や「人生会議」ということばを聞いたことがありますか？

「終活」とは、自分の人生を終えるにあたり、死と向き合い、最期まで自分らしい人生を送るための準備のことです。当初は、自分の葬儀やお墓について生前に準備することでしたが、最近では医療や介護についての要望、身辺整理、遺言、相続の準備なども含まれるようになりました。「終活」は、いろいろなところで耳にする機会が増えているように思います。また、以前に比べると、実際に取り組んでいる方も少しずつ多くなってきているのではないでしょうか。

一方の「人生会議」はまだ聞き慣れないことばだと思います。「人生会議」とは、厚生労働省が推奨しているACP(アドバンス・ケア・プランニング)の愛称です。ACPとは、もしもの時に、どのような医療や介護を受けたいのかを元気なうちから考えておこう、そしてその意志や考えを周囲の大切な人たちに伝えておきましょうというものです。とはいっても、心身の状態に応じて、意志や考えは変化することがありますので、その都度何度も何度も繰り返し考えて、話し合おうという取り組みのことです。

11月30日は人生会議の日です。あなたは人生の終わりまで、どこで、誰と、どのように過ごしたいですか？あなた自身で前もって考えて、あなたが信頼できる大切な人たちと話し合ってみませんか……？

話し合いの進めかた(例)



(厚生労働省のホームページより抜粋)

